

北橋前市長退任ご挨拶

謹啓 早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて 私こと 2月19日をもって、北九州市長を退任いたしました。平成19年に市長に就任して以来、「人にやさしく元気なまちへ」を公約に掲げ、市民や各界の皆様と丁寧に対話し、ご意見を伺いながら市政の運営にあたって参りました。衆議院議員6期をへて市長4期、山あり谷あり、37年の政治活動でした。

市長在任中は、子育て支援、安全安心の街づくりをはじめ、洋上ウインドファームなど環境未来都市、北九州空港滑走路延長をめざす物流振興、IT等企業の誘致などに道筋をつけ、無事に役目を終ることができました。これもひとえにご支援をいただいた皆様のおかげ様です。誠にありがとうございました。

今後は、市民の一人としてSDGs未来都市、文化創造都市を目指し微力ながら努力をする所存です。末筆ながら、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、略儀ながら書中をもってお礼と退任のご挨拶とさせていただきます。

令和5年3月吉日



敬具
前北九州市長
北橋 健治



Courtesy of The University of Chicago

いのちのたび博物館 20周年を記念して 展示物を大幅にリニューアル

いのちのたび博物館は開館から20年を迎えて、大幅に展示物がリニューアルされました。3月3日に特別展のオープニングに併せてリニューアル式典も執り行われました。

今回のリニューアルは常設展示物である恐竜レプリカなど、2013年以来10年ぶりに追加されました。

目玉はスピノサウルス(全長15m)の全身骨格標本です。国内にはほとんど無い標本だとい、この他にも多くの骨格標本が目と目とともに、地球誕生からの生物の進化や人の歴史が学べる貴重な施設となっています。

当館の収蔵品約83万点のうち、展示スペースの関係で常設は約6千点に限られますが、多くの骨格標本が収蔵されていると、私も認識を新たにいたしました。

歴史ゾーンでは文化学習園の茅葺き屋根を20年ぶりに葺き替えられました。明治期の北九州地方の農家をモデルに再現され、来館者にも座敷に上られるなどの工夫を凝らしており、貴重な体験ができる素晴らしい施設と感銘を受けました。

また、特別展では「世界の野生ネコ科展」が開催されており、皆さまには是非この機会に、いのちのたび博物館に足を運んでいただきたいと思います。

生年月日	昭和31年8月21日 八幡東区生まれ	職歴	福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師)
学歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業		平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選 令和 3年 北九州市議会議員 4期目当選
所属	立憲民主党福岡県連 幹事長代理 都市計画審議会委員、保健福祉委員会所属 北九州市卓球協会会長 令和5年4月1日現在		

北九州市議会議員
白石かずひろの事務所 TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp URL http://www.shiraishi-k.com

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。

政策実現が 議員の使命です!

大きな課題から小さな問題まであらゆるご相談にお答えします。皆様の課題解決こそが白石かずひろの使命です。



北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろの ハートフル通信

No.55 春号

[発行日] 令和5年 4月 [発行人・編集人] 白石一裕

2023

悲願の黒崎バイパス 春の町ランプが開通、交通混雑も緩和へ ～新市長による3月議会が開会、活発な質疑で選挙公約を問う～



今年、厳しい寒さもありましたが、季節外れの暖かさもあり、例年より桜の花の見頃も3月中と言、異例とも思える気候となりました。2月5日には16年ぶりとなる新人同士による北九州市長選挙が行われ、武内新市長の誕生となりました。北橋市長勇退を受け、我々市議会与党会派は北橋市政継承を標榜していただいた候補を支援しましたが、結果はご存じの通りです。しかし選挙で付託を受けた以上、武内市長とは切磋琢磨し、市政発展はもとより、市民生活向上といった基本的な政策では協力していきたいと考えています。一方、北橋前市長が築いてこられた市政も敬意をもって維持発展させるべきものも、数多くあると認識しています。北九州空港滑走路の3000m延伸も大きく前進し、物流拠点として益々空港の果たす役割が大きなものとなりました。また響灘洋上ウインドファームは3月から工事が始まりました。完成すれば一大洋上風力発電所が誕生し、脱炭素に寄与することとなり、視察にも多くの方が来られることにも繋がり、期待が大変大きなものとなっています。また、暴力団対策により、治安が大幅に向上したことにより、数多くの企業が北九州市進出を決めており、明るい展望も出て来ています。このようなことにより、人口分野における社会動態は昨年はほぼ0に近い状況になっています。人口は自然動態の減少幅が

桃園公園内、わんぱく広場再整備計画が実現に向けて進展!

大きく下げ止まる状況にはないものの、街は活力を取り戻しつつあります。

市長交代のこの3月議会は例年の予算議会ではなく、暫定予算(4月～6月分)であり、本予算は6月議会で行われます。

地域に目を移しますと、長年の課題でありました、黒崎バイパス春の町ランプの供用が開始され、渋滞緩和や安全性も高まり、地域経済の波及にも効果が大きいと期待されます。

令和5年度暫定予算概要	
暫定予算規模	1917億2900万円

主な(事業)では
官民連携による行財政改革推進事業 800万円

令和4年度一般会計3月補正予算案	
総額	113億7384万円を増額

物価高対策で実施する公共交通市内1日無料デーやプレミアム付きタクシー券発行事業(1億2820万円)を計上。保育所等の送迎バスに見落とし防止のセンサーやブザーを導入するなど、子どもの安全対策費(3億7600万円)も盛り込まれています。

福岡県議会議員選挙 投票日

2023年 4月9日(日)

期日前投票	八幡東区役所 別館 11会議室	4月1日(土)から8日(土) 午前8時30分～午後8時
	イオンモール 八幡東1階	4月5日(水)から8日(土) 午前10時～午後7時

祝開通!

国道3号黒崎バイパス 春の町ランプ・陣原ランプ



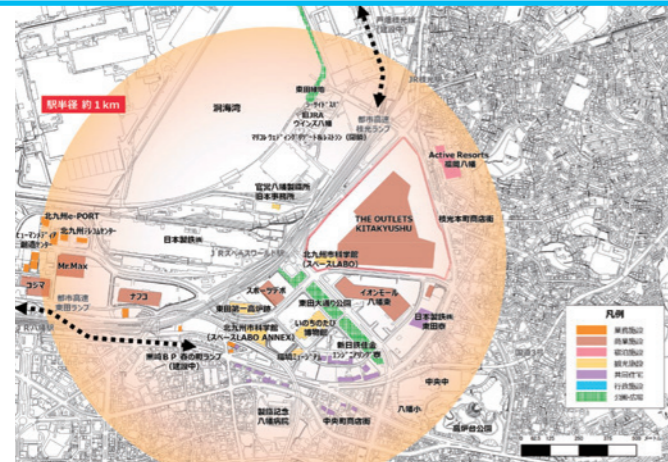
念願の国道3号黒崎バイパス春の町ランプ開通式典が、3月18日(土)11時より多くの関係者が参加され盛大に開催されました。この工事が完成し、ランプが供用開始することによる交通渋滞の緩和や物流の円滑化、交通事故の減少など様々な効果が期待されます。一般車の供用開始は午後4時からとなり多くの車が早速利用を開始しました。国土交通省北九州国道事務所によりますと、東西方向のバイパスの完成で、約18分の時間短縮になるとの報告がされています。バイパスは八幡東区西本町一八幡西区陣原間の5.8キロで、今回開通したのは、東田高架橋から春の町ランプ間の1.5キロです。これまで、都市高速を利用しない場合には東田方面にしか流入できず、本来のバイパスの果たす効果が果たされていませんでした。このバイパスは1991年度に事業化され、2008年度に一部供用開始。総工費は945億円を見込んでいます。残る未完成部分は国道200号からの連絡部分の黒崎西ランプが最後の工事となりますが、この工事の完成をもって黒崎バイパス全体の完成となります。膨大な予算や時間、また地権者の協力や関係者の努力なくしては、この大事業は完成出来なかったと思います。あらためて全ての方々に感謝とお礼を申し上げます。



開通を祝うテープカット式典



居住誘導促進事業について



2050年 まちのビジョン・八幡東区東田スケッチ
 令和4年3月に策定した「2050 まちづくりビジョン」の実現に向け、官民が連携して取り組む内容と進め方を「2050 まちづくりビジョン行動指針」として取りまとめました。
東田地区 6つのまちづくり方針
 ① 広場・公園を核としたシンボリック空間
 ② 「まちごととアート」など遊び心あふれる場
 ③ 実証フィールドの提供、実装に向けたサポート等
 ④ 先端技術のショーケース・ラボ
 ⑤ 広域から集客し、市内に送り出す集客ポンプ
 ⑥ 拠点性の高いステーション

本市の市街化区域から市街化調整区域に編入する問題は、一応の結論が出た事でこの事は落ち着きを取り戻しつつあると認識しています。一方、国の「居住誘導促進事業」が公表され、制度上の優遇を受けられる、支援対象地について現在、市において検討中ですが、国の制度上の対象地は
 ① 居住誘導区域外の区域
 ② 市街化区域から市街化調整区域編入を行なった区域
 とされています。

本市の人口状況	(令和2年)
市全体	939,029人
居住誘導区域内	714,799人
居住誘導区域外	224,230人

※居住誘導区域内外の人口については、R2国勢調査をもとに都市計画課にて集計。
 ※市街化調整区域への編入区域(逆線区域)については、令和5年4月末までの意見書をもとに、今後、都市計画原案を作成。

桃園公園わんぱく広場の再整備 桃園公園施設再配置計画

桃園公園では、平成29年に策定された施設再配置計画にもとづき、公園全体の面積17.3haのうち約11.3haを対象に再整備事業が行われています。

- 具体的な整備内容としては、
- ① 庭球場の整備 (未実施)
 - ② 武道場(弓道場・柔剣道場)の整備 (工事中)
 - ③ 駐車場の増設 (一部実施済)
 - ④ わんぱく広場の再整備 (未実施)

などです。今回、わんぱく広場の再整備案が作成されました。令和5年度に実施設計を行い、工事は令和6年度の実施となりますが、大幅なリニューアル工事で予算規模からしても期待が大きく、今から完成が楽しみでなりません。

※このわんぱく広場は市政15周年(現在は60周年)記念事業として市内の小学生からアイデアを募り、整備したものです。既存遊具の改修やリニューアルを行い、施設跡地を活用して広場やシンボル遊具を整備することで遊具広場としての、更なる魅力向上を図ります。



わんぱく広場整備イメージ※実際とは異なる場合があります。

春の町団地市営住宅整備事業について

以前にもご報告させていただいた、春の町に建設予定の市営団地のイメージ図などが公表されました。今後10年以内に耐用年数を迎える八幡東区の市営住宅の集約の集約を目的に、春の町団地の建替えを2工区に渡り実施されます。

春の町団地の現地建替えのほか、八幡東区の本町団地、小山田団地、白川町団地、宮田町団地、戸畑区の小沢見団地の計5団地を集約します。

- (1) 事業名 春の町団地市営住宅整備事業
- (2) 事業個所 八幡東区春の町五丁目6番
- (3) 全体計画 春の町団地を含む上記6団地の集約建替え
管理戸数: 257戸 → 建設戸数: 117戸
- (4) 総事業費 約28億5700万円
(うち第1工区 約13億2000万円)



第1工区の工期	令和4年12月15日から令和6年11月6日まで
全体スケジュール事業期間	令和元年度～令和10年度
第1工区	令和4年度～令和6年度
第2工区	令和8年度～令和10年度



ポテトの
ひとりごと

こんにちはポテトです！だいぶ暖かくなり春の匂いがしてきました。春は眠い季節なのに、WBCのおかげで益々眠くなっていませんか？ポテトでも大谷やダルビッシュがカッコよくて父さんと全然違うことはわかります(笑)いつもダメ～な父さんの話しばかりなので今回は父さんの良いところを紹介したいと思います。1つ目は、普段全く料理をしない父さんですが、カレーだけは凄く上手で美味しいこと。2つ目はお酒を飲んでどんなに遅く寝ても、朝は時間どおり起きること。3つ目は夜寝る時、必ずポテトをだっこして2階の母さんの部屋に連れていってくれること。父さん、これって褒めてることになるのかな？

